

# 中倉 茂和

小平市議会ニュース | 2023年 Vol.1



誰ひとり取り残さない社会に

会派／市議会れいわ新選組  
所属委員会／生活文教委員会  
・公共施設マネジメント調査特別委員会  
発行日／2023年11月XX日  
発行責任者／中倉茂和

report

## 議会で初質問しました。

令和5年度6月と9月の定例会が閉会しましたのでご報告させていただきます。  
まずは6月8日、本会議にて初めての一般質問をいたしました。

### ごあいさつ

5月に市議会議員としての任期が始まり、あっという間に半年が過ぎました。

定例会も6月、9月と2度経験しましたが、議会の進め方など初めての事が多いため、調査や勉強の毎日を送っています。

少しでも市民のみなさんのお役に立てるように、自らの足でみなさんの生の声をお聞きして誠実に対応していきたいと考えています。私を街中で見かけたら、何なりとご意見やご要望をお聞かせ下さい。

### プロフィール

1960年 山口県岩国市生まれ  
1983年 福岡大学工学部機械工学科卒  
1983年 コンピューター保守会社にてATM等の保守業務を担当  
1988年 音楽業界にて女優兼歌手やフュージョン系バンドのマネージャーとして従事  
2001年 印刷会社の製袋工場にて製造現場や工場長を経て品質管理や衛生管理を担当  
2022年 元衆議院議員秘書  
2023年 小平市議会議員選挙初当選  
＜趣味＞ 音楽鑑賞  
スポーツ観戦(野球・陸上など)  
＜好きな言葉＞ 一期一会

### 住まいは権利！



#### 空き家等対策及び低所得者や高齢者等への居住支援について

**Q** 空き家等を市が借り上げて、住まいを必要とする人々に提供する仕組みはあるか。

**A** 現在のところ市ではそのような仕組みはなく、今後もし取り組む予定はない。なお、退職などにより住居を失った人、または失うおそれのある人に対し、就職に向けた活動をするなどを条件に、一定期間家賃相当額を支給する制度や、住宅に困っている高齢者を対象に、市が民間のアパートを借り上げて支援する制度がある。

#### ＜質問を終えて＞

住まいは権利！を実現するために、まずはあえて根本的なことを聞いてみましたが予想通りの回答でした。また、アパートなどの集合住宅や長屋などの共同住宅は全戸が空室にならないと空き家とはならないなど課題もいろいろと見えてきました。生活困窮者や高齢者、障害者が安心して暮らせる住まいの確保が出来るように住まいは権利！をこれからも訴えていきます。

**Q** 低所得者や高齢者、障害者に対して、市による家賃補助制度はあるか。

**A** そのような制度はないが、生活困窮者については離職などにより住居を失った人などに、一定期間家賃相当額を支給する制度がある。また、高齢者及び障害者については、賃貸借契約に係る保証料の助成などを行っている。

9月の定例会での一般質問(9月7日)は以下の2点になります。

### 商店街の元気を取り戻そう！

#### デジタル地域通貨発行による地域経済及び地域コミュニティの活性化について

**Q** 全国で導入が相次ぐデジタル地域通貨は地域経済や地域コミュニティの活性化のための重要なツールと考えるが、小平市の見解は。

**A** 過去と比較してコストを抑えてデジタル地域通貨の発行が可能となっており、特定の地域内や店舗に限定して使える通貨のため、地域経済での消費が循環する可能性を持つツールであると考えている。

#### ＜質問を終えて＞

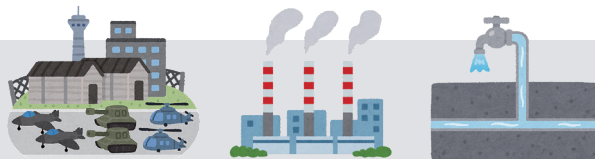
地域経済や地域コミュニティの活性化にデジタル地域通貨は有効な手段と考えます。市の対応は鈍いが、他市の動向に注視しながら実現に向けて努力していきます。





## 市民の暮らしと健康を守る！

### PFAS汚染水問題について



**Q** 汚染源は米軍基地だけとは限らず、PFASそのものを製造していた工場のほか、製造過程でPFASを使っていた半導体や自動車部品などの工場、泡消火剤を使っていた空港や自衛隊基地、更には焦げつき防止のフライパンやレインコート、防水スプレーといった生活雑貨や洗剤、化粧品などの可能性もあるが、市内にあるPFASが使われている工場や企業などの把握は。

**A** 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律により、PFOSは平成22年以降、PFOAは令和3年以降、製造、輸出等が原則禁止されており、市内ではPFOS及びPFOAが作られている工場はないものと認識している。これら以外のPFASの使用状況については把握していない。

#### <質問を終えて>

PFAS問題は決して米軍基地だけの問題ではありません。市民団体の血液検査により明らかになったこの問題、国や東京都の指示を待つのではなく、市民のみなさんの安心・安全のためにも市独自の血液検査の早期実施を求めています。

**Q** 汚染大国のアメリカは規制だけでなく、汚染対策にも取り組んでおり、国防総省は専門部署を設けて水質浄化や土壌除染を進めている。また、米軍は基地外へのPFAS流出を防ぐため、粒状活性炭フィルターによる処理や調整池内の泥の回収などを行い、活性炭処理後の水は暫定目標値を下回っていると言う。国もしくは東京都からPFAS汚染に対する対策については指示などがあったか。

**A** 国や東京都から具体的な指示はありません。

### 日々の活動



一橋学園駅にて朝の駅頭



くしぶち万里共同代表との街宣

## ちょっとブレイク！

高校時代は陸上部で中・長距離の選手でした。駅伝やマラソンなどの長い距離を走るときのコツを1つ。例えば、10キロを走る場合、5キロを過ぎた時点で「まだ5キロ残っている。」と考えるか、「あと5キロで終わりだ。」と考えるかで残りの5キロの走り方が変わります。要は気持ちの持ち様なのです。日々の生活の中でもポジティブに考えることで道が開けるかもしれません。



## 初の行政視察に行ってきました！

10月18日から20日の3日間、生活文教委員会の一員として島根県へ行政視察に行ってきました。

今回は松江市で視察した

「Ruby City MATSUEプロジェクト」をご紹介します。

平成18年にスタートしたこのプロジェクトは「Ruby」と言うプログラミング言語を小中高大生への授業に取り入れることでIT人材を地域で育て、島根県と連携した誘致策や企業支援でIT企業を呼び込んで雇用を生み、新たな人材が地域に参加することで、技術者がコミュニティに参加、コミュニティが教育にも協力することで人が育つと言う産学官の連携により好循環を生み出す産業振興施策です。

その主な実績として、プロジェクト開始時の平成18年度と比較して、市内のIT従事者数が1.8倍、IT企業売上高が2.8倍となっています。小平市においても自治体DXの推進や保育園・学童クラブのICT化など一層の効率化や健全な財政運営を目指しています。松江市

がプログラミング言語「Ruby」を作ったまつもとゆきひろさんが在住していることに着目して事業展開していったように、小平市が目指す将来像「つながり、共に創るまちこいだいら」の実現に向けて、独自の文化や産業をきっかけに地域活性化や経済振興に繋がれたらと考えています。



## こんにちは「れいわ新選組」です！

「れいわ新選組」は2019年に、当時参議院議員だった山本太郎がたった一人で決意して立ち上げた政党です。現在は国会議員8人を擁する国政政党になりました。約30年続く日本の不景気を打破り、この国に生きるすべての人々が“何があってもし心配することがない社会”を作りたいと

いう思いからでした。今こそ、積極財政を旗印に全く新しい形の市民政党が必要だと考えています。「新選組」とは「新しく選ばれた者たち」という意味です。どうぞよろしくお願いいたします。



れいわ新選組の戦いは  
こちらをご覧ください



お困りごとやご意見がありましたら  
ぜひご連絡ください。

HP



X  
(旧Twitter)



市民と一緒に歩む会 〒187-0031 東京都小平市小川東町5-17-26-410

☎ 090-7817-7037

✉ nakamowa1020@gmail.com